

## □ アナリスト週間相場予想

	 コーン Corn	 大豆 Soybean
江崎		
西		

## Pick up News

### 〔注目スケジュール〕

- 8/1 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉報告
- 4 米農務省 (USDA) 週間輸出検証高  
USDAクロップ・プログレス
- 7 USDA週間輸出成約高
- 8 CFTC建玉報告

## □ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートは東京コーン先限日足に一目均衡表を付けたものである。先週完成した三役逆転状態は現在も継続、弱い状況に変化無し。続いて単純パターン分析で見るとまだ40000円~42000円ラインの中で推移している為明確な方向性を導くブレイクアウトは観測できず持ち合いに入って小康状態を保っているといえる。最後に取組高に注目すると現在の40000円台前半のレンジに入ってから国内外の商社勢の買戻しとファンド筋の転売が上手くかみ合い昨日(7/31)残の取組高はやっと8万5千枚を割り込んだ。ただし、大多数の当業者が売り玉縮小しているのを尻目に唯一某国内商社が期近から現物背景の売り参入を行っている事も観測されている。取組の解れがある程度確認できた場面に突入してきているので、後は上下どちらにはっきりブレイクアウトするのかを見極めたい。今週は一目均衡表の売りサインを根拠に下値リスクを重視としておきたいが、現在40000円が厚くて強力なサポートラインとなっているのはパターン分析上明らかな事実、もしもここを割り込んだ場合はかなりの投げものと新規売りを呼び込む可能性が高いと考えられる。

一般大豆は昨日と今日の前場で、ここ2週間程買ひ下がってきた当業者達の転売、投げ撤退が観測されている。対シカゴで東京がかなりの割安に位置している事実は変わらないが、7月末まで良好であった内部要因も期先中心に徐々に悪化している。様子見から戻り売りに転換したと当方感じる(8/1 前引け現在)

## □ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

穀物にはちょっとした手掛かりが見えてきたが、それは強弱まちまちである。まず、土壤保全プログラム(CRP)の早期開放にストップがかかる可能性が強まり(ペナルティを課すと表明)、これが2009-10年度の需給を引き締めるとの憶測を呼んだ。市場では、歴史的な需給ひっ迫状態と今後の需要予測に基づいて、来年からはCRPの開放が必至との見方であったし、実際に米農務省の長期予測においてもこうしたシミュレーションが施されていた。その雲行きが変わってきたことで、当ニュースが伝えられた日にはシカゴ市場で2009年9月限以降が上げ幅を拡大させる場面が見られた。

その後は、テキサス州知事が要請しているエタノールの混合義務量削減に関し、米環境保護局(EPA)が前向きな回答を用意しているとの見方が出て、相場の上値を抑制する材料と判断された。毎月発表されている需給報告において、コーンのエタノール向けの需要は前年度から10億ブッシェル拡大するとの予想が示されており、これに影響が出るのではないかと市場関係者は危惧している。

強弱材料がもたらされた市場は、コーンの受粉がピークを迎えるとあって、天候要因にも過剰反応を見せている。12日の需給報告が最大の関心事であるが、それまでにはまだ時間があり、天候やクロップ・コンディションの変化をテーマにもみ合いとなる可能性が高い。民間予想会社からの見通し等を参考に、需給報告発表後のシナリオを練り直す段階となりそうだ。突っ込み売り警戒感がある一方で、上値を積極的に買う材料はまだ見えて来ない。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

許可RE0027(許可取得日08/08/01)

## ▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

## ▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。  
※上記取引証拠金は2008年8月1日現在の金額です。

## ▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。  
※上記委託手数料は2008年8月1日現在の金額です。

## ▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。  
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)